

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 11-136660

(43)Date of publication of application : 21.05.1999

(51)Int.Cl.

H04N 7/18
H04Q 7/38
H04N 5/225

(21)Application number : 09-297044

(71)Applicant : KYOCERA CORP

(22)Date of filing : 29.10.1997

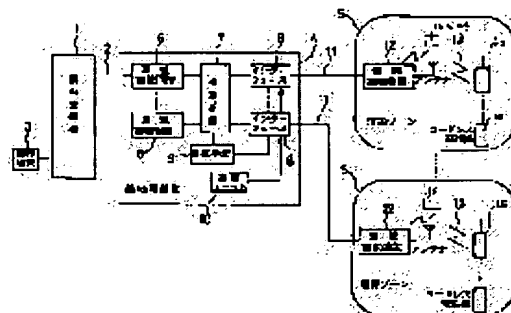
(72)Inventor : WATANABE TAKASHI

(54) CORDLESS MONITORING CAMERA SYSTEM

(57)Abstract:

PROBLEM TO BE SOLVED: To provide a system with no fear of being stolen by detecting whether a monitoring camera moves or not, storing information the camera picks up and, when a motion of the camera is detected, by automatically deleting contents of an identification code and a memory after transferring them to a monitor.

SOLUTION: When a monitoring camera 15 receives a command of a theft block control ON, a power source control is invalidated a sensor in which. The monitoring camera 15 is provided with a sensor having a switch of a UN1 of CPU that is turned on when the monitoring camera 15 is moved from an installation position. When this is inputted, a command for automatical call is issued to a monitor 16. In this case, when there is a response from the monitor 16, data on a video, its own slave machine ID and the time are transferred to the monitor 16. A buzzer sound of about 80 phon is sounded. When the monitoring camera 15 cannot make a call, the functions of the monitoring camera 15 are deleted by deleting the information on the slave machine and information of high confidentiality.



LEGAL STATUS

[Date of request for examination]

09.08.2001

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

3492895

[Date of registration]

14.11.2003

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of extinction of right]

Copyright (C); 1998,2003 Japan Patent Office

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開平11-136660

(43) 公開日 平成11年(1999) 5月21日

(51) Int.Cl.⁶

識別記号

F I

H 0 4 N 7/18

H 0 4 N 7/18

D

H 0 4 Q 7/38

5/225

C

H 0 4 N 5/225

H 0 4 B 7/26

1 0 9 M

審査請求 未請求 請求項の数 1 O L (全 4 頁)

(21) 出願番号 特願平9-297044

(22) 出願日 平成9年(1997)10月29日

(71) 出願人 000006633

京セラ株式会社

京都府京都市伏見区竹田烏羽殿町6番地

(72) 発明者 渡辺 隆史

東京都世田谷区玉川台2丁目14番9号 京

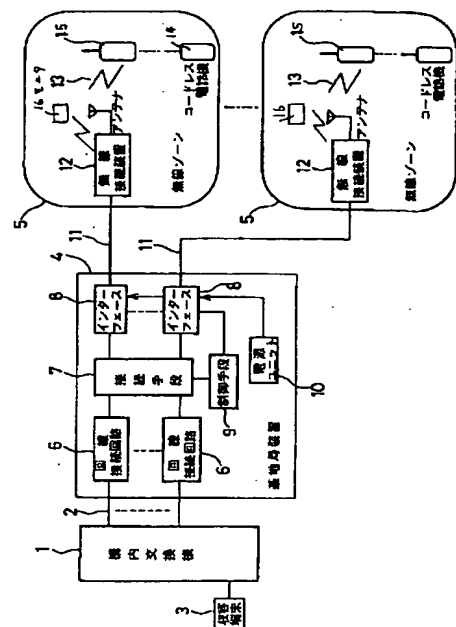
セラ株式会社東京用賀事業所内

(54) 【発明の名称】 コードレス監視カメラシステム

(57) 【要約】

【課題】 監視カメラの盗難防止に関する。

【解決手段】 本発明は監視カメラに設けられたセンサが監視カメラが設置場所がずらされたことを検出すると、監視カメラが撮影してきた音声および画像情報をモニタに転送した後に自動的に監視カメラの識別コード等の機密性の高い情報が消去されるので、監視カメラが盗難されたとしても電話を不正に使用されることを未然に防ぐことができる。



(19)日本国特許庁 (J P)

(12) 公 開 特 許 公 報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開平11-136660

(43)公開日 平成11年(1999) 5月21日

(51)Int.Cl.⁹

識別記号

F I

H 0 4 N 7/18

H 0 4 N 7/18

D

H 0 4 Q 7/38

5/225

C

H 0 4 N 5/225

H 0 4 B 7/26

1 0 9 M

審査請求 未請求 請求項の数 1 O L (全 4 頁)

(21)出願番号

特願平9-297044

(22)出願日

平成 9 年(1997)10月29日

(71)出願人 000006633

京セラ株式会社

京都府京都市伏見区竹田鳥羽殿町 6 番地

(72)発明者 渡辺 隆史

東京都世田谷区玉川台 2 丁目14番 9 号 京

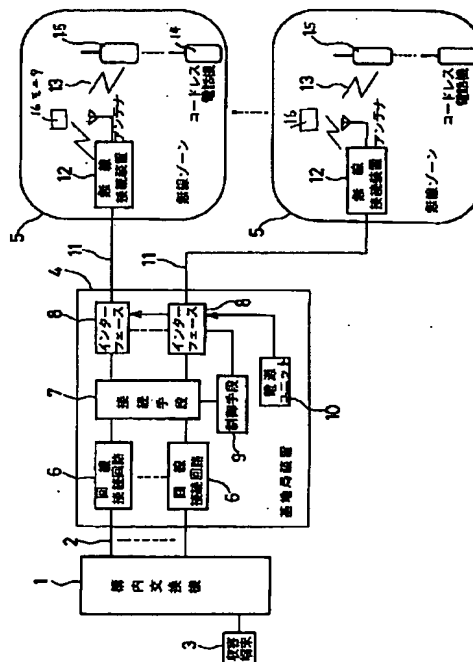
セラ株式会社東京用賀事業所内

(54)【発明の名称】 コードレス監視カメラシステム

(57)【要約】

【課題】 監視カメラの盗難防止に関する。

【解決手段】 本発明は監視カメラに設けられたセンサが監視カメラが設置場所がずらされたことを検出すると、監視カメラが撮影してきた音声および画像情報をモニタに転送した後に自動的に監視カメラの識別コード等の機密性の高い情報が消去されるので、監視カメラが盗難されたとしても電話を不正に使用されることを未然に防ぐことができる。



【特許請求の範囲】

【請求項1】識別コードを有するコードレス監視カメラと、前記コードレス監視カメラで撮影された音声および画像情報を監視するモニタとから構成されるコードレス監視カメラシステムにおいて、前記コードレス監視カメラに設けられ前記コードレス監視カメラが移動されたかどうかを検出するためのセンサーおよび前記コードレス監視カメラで撮影された情報を格納するためのメモリとを有し、前記センサーが前記コードレス監視カメラの移動を検出したときには前記識別コードおよび前記メモリの内容が前記モニタに転送された後に自動的に消去されることを特徴とするコードレス監視カメラシステム。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は、個人管理の駐車場や一般家庭の監視を目的としたコードレス監視カメラに設けられたセンサーが監視カメラが移動されたことを検出したときには監視カメラに記録されてきた情報をモニタに転送された後に消去されるコードレス監視カメラシステムに関する。

【0002】

【従来の技術】従来の監視カメラシステムにおいては、監視カメラとその監視カメラで撮影された画像情報を受信するためのモニタとの間には有線によって接続されていた。そのために、監視カメラとモニタとの間で画像情報および音声情報を転送するためのプロトコルはメーカー毎に独自の方式であって、汎用性は要求されなかった。このように監視カメラとモニタとの間のプロトコルがメーカー毎に異なるために監視カメラが盗難されることはなかった。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】このように従来の監視カメラシステムにあっては、監視カメラとモニタとの間のプロトコルがメーカー毎に異なるために盗難されることはなかった。しかし、本発明で用いられている監視カメラはコードレスであって、さらにPHS方式のプロトコル手順を有するシステムであれば監視カメラをどこでも使用できるように盗難されるおそれがあった。

【0004】

【課題を解決するための手段】本発明はこれらの課題を解決するためのものであり、識別コードを有するコードレス監視カメラと、前記コードレス監視カメラで撮影された音声および画像情報を監視するモニタとから構成されるコードレス監視カメラシステムにおいて、前記コードレス監視カメラに設けられ前記コードレス監視カメラが移動されたかどうかを検出するためのセンサーおよび前記コードレス監視カメラで撮影された情報を格納するためのメモリとを有し、前記センサーが前記コードレス監視カメラの移動を検出したときには前記識別コードおよび前記メモリの内容が前記モニタに転送された後に自

動的に消去されるコードレス監視カメラシステムを提供する。

【0005】

【発明の実施の形態】以下、本発明の実施例について図面を用いて説明する。図1は本発明のコードレス監視カメラシステムのブロック図であり、図2は本発明のコードレス監視カメラシステムの動作を説明したフローチャートであり、(a)は監視カメラの動作を説明したものであり、(b)はモニタの動作を説明したものである。図1のコードレス監視カメラシステムは構内で使用されたときの一実施例であるが、勿論、これ以外にも例えば、現在普及しているPHSシステムのようなデジタルデータをコードレスによって転送できる公衆回線システムにも本発明は適用できる。

【0006】符号1は、公衆電話回線網と接続された既存のアナログ式の構内交換機(PBX)を示し、この構内交換機1はコードレス電話機制御機能を有していない。構内交換機1からは収容端末電話3と接続されるための回線の他に、複数のコードレス電話機14と通話するための複数の通話回線2が出ており、複数の通話回線2には、基地局装置4内の複数の回線接続回路6の各々が接続されている。通話回線2においては、アナログ信号が送られるアナログ通信が行なわれる。

【0007】基地局装置4には通話回線2の数よりは少ない複数のインタフェース回路8が設けられており、これらのインタフェース回路8の各々には接続ケーブル11を介して同じ数の無線接続装置12が接続されている。各々端末からの通話信号が都内線端末(コードレス電話機14)からの通話信号を選択して接続する接続手段7が設けられている。接続手段7とインタフェース回路8及び回線接続回路6の各動作をコントロールする制御手段9が接続されている。またインタフェース回路8の各々には、基地局装置4に電源供給する他に接続ケーブル11を介して無線接続装置12に電源供給する、電源ユニット10が接続されている。

【0008】無線接続装置12の各々は、互いに別々の場所に無線ゾーン5を形成し、各々の無線ゾーン5内に存在する1つ又は複数のコードレス電話機14、監視カメラ15およびモニタ16と無線チャンネル13を介して無線接続して通信ができるようになっている。インタフェース回路8と無線接続装置12の間では、接続ケーブル11を介してデジタル信号でコマンドデータと音声データおよび画像データのやり取りが行なわれる。このとき、監視カメラ15で撮影された音声および画像データはモニタ16に転送される。

【0009】監視カメラ15は、モニタ16からの盗難防止制御ONのコマンドを受信すると(S1)、電源制御が無効となる(S2)。また、監視カメラ15は設置場所からずらされると監視カメラ15に設けられたCPUの

10

20

30

40

50

NMIのスイッチがONになるセンサーがある(S3)。これが入力されるとモニター16へ自動発呼するためのコマンドを発行する(S5)。この時、モニター16から応答があった場合には(S6)映像・子機ID・時間のデータをモニター16に転送する(S7)。さらに、80ホーン程度のブザー音を鳴動させる(S8)。監視カメラ15が発呼できない場合には(S9)、子機ID及び機密性の高い情報を消去することによって監視カメラ15の機能を消去する(S11)。また、タイマー機能によりNMIが5分間ONの場合(S12)についても同様である。

【0010】次に、モニター16についての動作説明を行なう。モニター16は監視カメラ15に盗難防止制御ONのコマンドを送信する(S20)。監視カメラ15からのデータが転送されてきたかどうかを判定し(S21)、転送されてきたときには監視カメラ15からの転送データをメモリに保管する(S22)。必要によっては、管理者が音声によって警告音声を監視カメラ15に送信することもできる(S23、S24)。

【0011】

【発明の効果】以上のとおり、本発明は監視カメラに設けられたセンサが監視カメラが設置場所がずらされることを検出すると、監視カメラが撮影してきた音声および画像情報をモニターに転送し、さらに監視カメラの識別コード等の機密性の高い情報を消去することができるので、監視カメラが盗難されたとしても電話を不正に使用*

*されることを未然に防ぐことができる。

【図面の簡単な説明】

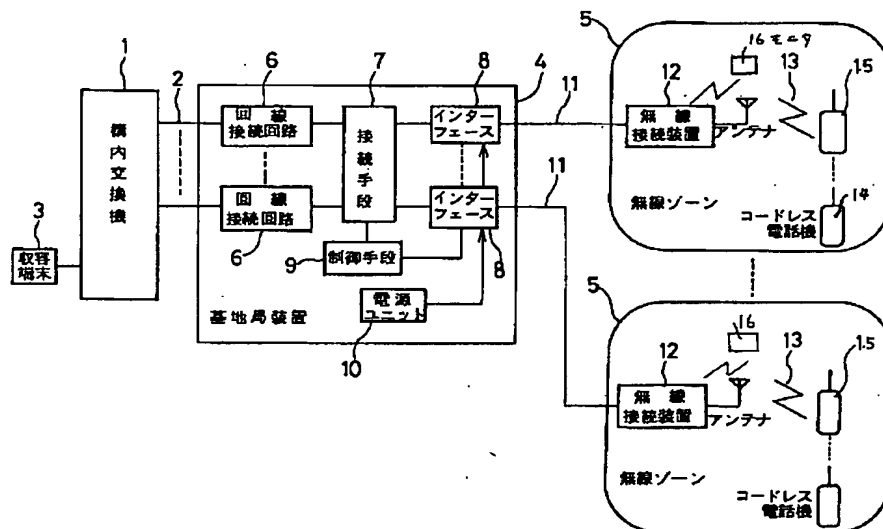
【図1】 本発明のコードレス監視カメラシステムのブロック図である。

【図2】 本発明のコードレス監視カメラシステムの動作を説明したフローチャートであり、(a)は監視カメラの動作を説明したものであり、(b)はモニターの動作を説明したものである。

【符号の説明】

- | | |
|----|----------|
| 1 | 構内交換機 |
| 2 | 通話回線 |
| 3 | 収容端末 |
| 4 | 基地局装置 |
| 5 | 無線ゾーン |
| 6 | 回線接続回路 |
| 7 | 接続手段 |
| 8 | インターフェース |
| 9 | 制御手段 |
| 10 | 電源ユニット |
| 11 | 接続ケーブル |
| 12 | 無線接続装置 |
| 13 | 無線チャンネル |
| 14 | コードレス電話機 |
| 15 | 監視カメラ |
| 16 | モニター |

【図1】



【図2】

